2020 年度　部局 FD 活動報告

地域保健学域総合リハビリテーション学類・研究科

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要

・総リハ学類教育改革委員会が主体又は看護学類との共催で、研究科及び学類の FD 活動を実施している。

・総リハ学類の各専攻では教員の教育能力を高めるために、常時、授業・実習内容の検討を行なっている。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2021 年 3 月 11 日	FD カフェ 「コロナ時代の研究戦略～研究活動の工夫を中心に～」	セミナー	36
2021 年 3 月 3 日～3 月 17 日	オンライン授業に関するアンケート	調査	47

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
総リハ学類 FD 委員会	セミナー実施の打ち合わせ FD 活動の見直し、今後のセミナー実施計画立案	5	3
理学療法学専攻 FD 会議			
理学療法評価学Ⅰ向上会議	授業内容の検討	10	3
理学療法基礎評価学実習Ⅰ向上委員会	授業内容の検討	10	2
理学療法基礎評価学Ⅱ向上会議	授業内容の検討	10	2
基礎運動学実習 A 向上会議	授業内容の検討	16	3
理学療法評価学総合実習向上会議	理学療法評価学総合実習の授業における学生の習熟度合いを深めるために協議	12	6
神経理学療法学Ⅱ向上会議	神経理学療法学Ⅱの授業における学生の習熟度合いを深めるために協議	8	2

物理療法学Ⅱ向上会議	物理療法学Ⅱの授業における学生の習熟度合いを深めるために協議	3	2
理学療法早期体験実習向上会議	理学療法早期体験実習における学生の習熟度合いを深めるために協議	4	3
臨床実習担当者会議	臨床実習内容の検討	20	10
臨床実習の学内代替実習担当者会議	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う代替実習内容の検討	15	10
作業療法学専攻 FD 会議			
2020 年度作業療法臨床実習Ⅳ検討会議①	最終的に、2020 年度は、6 週間×3 期間のうち、前 2 期間は中止。最後の 1 期間＋3 週間の追加実習を行った。 ・実習地との連絡、実習の判断等の調整会議	10	5 （最終的には専攻会議）
2020 年度作業療法臨床実習Ⅳ検討会議②	中止にした 2 期間分の、学内代替プログラムの協議（オンライン）	20	11
2020 年度作業療法臨床実習Ⅲ検討会議 （2020.8.24～9.11 で実施）	実習地との連絡、中止施設の代替調整、実習の判断、実習内容の確認等の調整会議 ※例年実施している「臨床実習指導者会議」は実施せず	10	5
2020 年度作業療法臨床実習Ⅱ検討会議① （2021.3.1～3.4 で実施）	実習地との連絡、中止施設の代替調整、実習の判断、実習内容の確認等の調整会議	5	4
2020 年度作業療法臨床実習Ⅱ検討会議②	実習地からの「断り」のために代替プログラム対応になった学生に対する学内代替プログラムの協議と実施（学内・対面）	5	4
2020 年度作業療法臨床実習Ⅰ検討会議 （2021.2.22～2.26；3.8～3.12 の中で、2 日間を 2 回実施）	実習地との連絡、中止施設の代替調整、実習の判断、実習内容の確認等の調整会議	10	4
新カリ臨床実習 WG	新カリ移行期間の在校生に対する臨床実習内容の一部変更についての検討・確認 ※今後、新大学での臨床実習検討に移行させていく予定	6	8
「作業療法評価学」関連科目調整 WG	関連科目間の授業内容の調整・検討	3	5

「作業科学」「作業科学実習」関連科目調整 WG	関連科目間の授業内容の調整・検討	2	4
「高次脳機能障害学Ⅰ」調整 WG	非常勤講師とのオンライン授業の検討・調整	3	3
「身体障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・実習」関連科目調整 WG	関連科目間の授業内容の調整・検討 非常勤講師とのオンライン授業の検討・調整	5	7
「精神障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ・実習」関連科目調整 WG	関連科目間の授業内容の調整・検討 非常勤講師とのオンライン授業の検討・調整	3	4
栄養療法学専攻 FD 会議			
公衆衛生学・公衆栄養学関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	4	7
食品学関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	4	7
基礎栄養学・生化学関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	2	3
応用栄養学・栄養教育論関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	4	6
臨床栄養学関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	13	5
給食経営管理論関連科目検討委員会	授業・実習内容の検討	3	3
臨地実習担当者会議	臨地実習内容の検討	18	10
教育実習担当者会議	教育実習内容の検討	3	2

4.　FD 活動への各教員の参加状況

※　前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	34 人　／35 人中

5.　ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度 合計			

6.　その他取り組みの具体的実施状況

・大学院では全教員参加による中間報告会を引き続き開催し，研究指導方法の更なる改善を図った。

・在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成−医療と在宅ケアの連携を推進する「大阪府立大学履修証明プログラム」を引き続き推進した。
・学類授業アンケートへの参加を学生に促した。